

スーパージュニア選手育成プログラム 2016

～特別プログラム（東京遠征研修）～

「スーパージュニア選手育成プログラム 2016—体験プログラム—」に参加した選手が、国内トップクラスの大会や日本代表選手が合宿する施設等の視察研修を通し、将来のスポーツ活動の目標設定の一助となり、国民体育大会の広島県代表やオリンピック出場を目指すアスリートに育つことを期待して、平成 29 年 3 月 18 日(土)から 20 日(祝)までの 2 泊 3 日の日程で特別プログラムを計画・実施した。

今回は、5 回の体験プログラムとファイナルトライアルの全日程に参加した 6 年生男女 9 人とその保護者が参加した。

第 1 日目（3 月 18 日）

朝 7 時 30 分に広島駅に集合し、期待に胸を膨らませながら新幹線に乗り込んだ。

東京駅到着後、貸切バスで駒沢体育館に移動し、日本ハンドボールリーグの男子プレーオフ（準決勝）の観戦プログラムから始まった。会場に到着すると、既に試合前セレモニーが始まっており、真っ暗な体育館の中で、スポットライトと場内アナウンスに圧倒されながら、湧永製薬チームの応援席についた。

試合は、前半ほぼ互角のゲーム展開だったが、後半に入ると、1 位通過の大同特殊鋼と 4 位通過の湧永製薬の力の差があるのか、大同特殊鋼の攻撃に圧倒され、残念な敗戦となった。しかし、迫力満点のハンドボールの国内トップチームの試合を観戦できたことに何かを感じ取ってもらえたであろう。

観戦後は、同会場内にある東京オリンピックギャラリーを見学し、1964 年に開催した東京オリンピックの写真等を見学し、2020 年の東京オリンピックに夢をつないだ。



広島駅新幹線ホームにて



ハンドボールプログラム



応援した湧永製薬チーム



オリンピックギャラリーでトーチを手に



都庁前での記念写真

第2日目 (3月19日)

午前のプログラムは、日本武道館での全国高等学校柔道選手権大会の観戦、日本武道館の大きさにびっくりしながら、広島から出場している男女各5人の選手の試合場を探すのに苦労していた。



日本武道館前での集合写真



日本武道館

午後からは、ハンドボールの決勝戦（湧永製薬戦）がなくなったので、新豊洲 Brillia ランニングスタジアム→東京タワー→浅草（スカイツリー）にプログラムを変更した。

侍ハードラーの為末大さんが館長を務める新豊洲 Brillia ランニングスタジアムでは、競技用義足体験をさせていただき、障害者スポーツへの認識を深めることができた。

続いて、東京タワー、浅草、スカイツリーと、「ザ・東京」に触れ、人の波、昔と今の社会勉強の時間を過ごした。



Brillia ランニングスタジアム正面



Brillia ランニングスタジアム内



義足を体験、義足で歩く・走る体験



東京タワー、浅草、スカイツリー

第3日目（3月20日）

味の素ナショナルトレーニングセンターの各競技施設を丁寧に案内していただき、オリンピック仕様の床・壁・器具を見て、触れ、体感した。昼食は、SAKURA Dining「勝ち飯食堂」でアスリートと同じ食事を試食できた。





左上から

- ・リオ選手のサイン入りオリンピック旗
- ・ボクシング体験
- ・レスリング場
- ・体操競技場でのスプリング床体験
- ・柔道場「加納治五郎先生」の写真の前で
- ・食堂の掲示板

